

## みずほマーケット・トピック(2021 年 7 月 30 日)

## 内容 1. 為替相場の動向

## 2. 来週の注目材料

※「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。本日発行の『中期為替相場見通し』をご参照下さい。

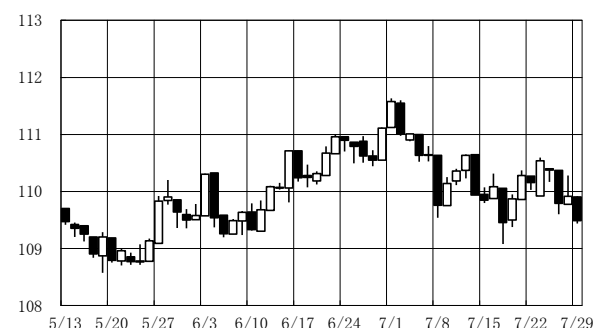
## 1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は、上値の重い展開。週初 26 日、110.50 円付近でオープンしたドル/円は米株の軟調推移を背景にリスク回避の円買いが強まる中、一時週高値の 110.58 円をつけたが、その後はやや方向感に欠ける値動きとなった。27 日、110 円台前半で推移していたドル/円はリスク回避の動きに加え、米長期金利の急低下や米 6 月耐久材受注の結果が市場予想よりも悪かったことを受けて、109 円台半ばまで下落した。28 日、中国株の下落が一服し、米金利が上昇に転じたことからドル/円はじり高に推移し、110 円台を回復。海外時間に開催された FOMC では、声明文がテーパリング期待の高まりにつながる内容であり、110.30 円付近まで急伸するも、その後のパウエル FRB 議長の発言が引き続きハト派寄りであったことを受け、109 円台後半まで反落した。29 日、ドル/円は米 4~6 月期 GDP が予想を下回る結果となり、一時週安値の 109.43 円まで続落し、その後も上値重く推移した。本日のドル/円は 109 円台半ばでの取引が続いている。
- 今週のユーロ/ドル相場は、週後半に上昇した。週初 26 日、1.1770 付近でオープンしたユーロ/ドルは、独 7 月 Ifo 景況感指数が市場予想を下回り、一時週安値の 1.1764 まで下落した。その後ドルの軟調地合いを受け 1.18 台前半まで反発した。27 日、ユーロ/ドルは、株式市場の軟調推移やリスク回避の円買い圧力に押されたが、米長期金利の急低下にドル売りが加速し、1.18 台半ばまで値を戻した。28 日、ユーロ/ドルは、1.18 台前半で小動きだったが、パウエル FRB 議長のハト派な発言内容が材料視されるとドル売りが優勢となり、1.18 台半ばまで値を上げた。29 日、ユーロ/ドルは、米 4~6 月期 GDP が予想比弱い結果となったことを受けてドル売りが加速すると、一時週高値の 1.1893 まで上昇した。本日のユーロ/ドルは、前日の高値を更新する展開となっており、1.19 付近での取引が続いている。

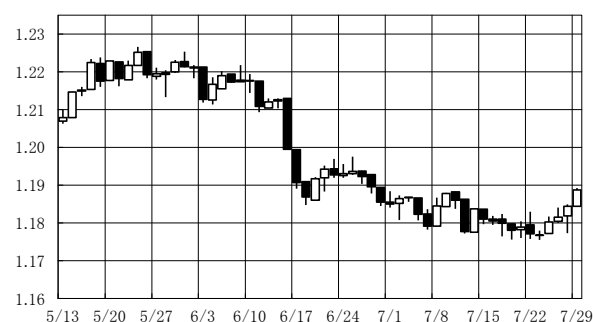
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

|              |          | 前週末       | 今 週       |           |           |           |  |
|--------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--|
|              |          | 7/23(Fri) | 7/26(Mon) | 7/27(Tue) | 7/28(Wed) | 7/29(Thu) |  |
| ドル/円         | 東京9:00   | 110.13    | 110.55    | 110.31    | 109.81    | 109.88    |  |
|              | High     | 110.59    | 110.58    | 110.38    | 110.29    | 109.94    |  |
|              | Low      | 109.92    | 110.13    | 109.59    | 109.75    | 109.43    |  |
|              | NY 17:00 | 110.54    | 110.38    | 109.79    | 109.91    | 109.49    |  |
| ユーロ/ドル       | 東京9:00   | 1.1774    | 1.1773    | 1.1805    | 1.1822    | 1.1847    |  |
|              | High     | 1.1786    | 1.1817    | 1.1841    | 1.1849    | 1.1893    |  |
|              | Low      | 1.1755    | 1.1764    | 1.1770    | 1.1772    | 1.1841    |  |
|              | NY 17:00 | 1.1769    | 1.1803    | 1.1815    | 1.1844    | 1.1887    |  |
| ユーロ/円        | 東京9:00   | 129.70    | 130.10    | 130.21    | 129.87    | 130.11    |  |
|              | High     | 130.16    | 130.35    | 130.26    | 130.23    | 130.55    |  |
|              | Low      | 129.65    | 129.71    | 129.55    | 129.65    | 129.91    |  |
|              | NY 17:00 | 130.13    | 130.30    | 129.74    | 130.17    | 130.12    |  |
| 日経平均株価       |          | -         | 27,833.29 | 27,970.22 | 27,581.66 | 27,782.42 |  |
| TOPIX        |          | -         | 1,925.62  | 1,938.04  | 1,919.65  | 1,927.43  |  |
| NYダウ工業株30種平均 |          | 35,061.55 | 35,144.31 | 35,058.52 | 34,930.93 | 35,084.53 |  |
| NASDAQ       |          | 14,836.99 | 14,840.71 | 14,660.58 | 14,762.58 | 14,778.26 |  |
| 日本10年債       |          | -         | 0.01%     | 0.02%     | 0.01%     | 0.02%     |  |
| 米国10年債       |          | 1.28%     | 1.29%     | 1.24%     | 1.24%     | 1.27%     |  |
| 原油価格(WTI)    |          | 72.07     | 71.91     | 71.65     | 72.39     | 73.62     |  |
| 金(NY)        |          | 1,801.80  | 1,799.20  | 1,799.80  | 1,799.70  | 1,831.20  |  |

## ドル/円相場の動向



## ユーロ/ドル相場の動向



## 2. 来週の注目材料

- 米国では、2日(月)に7月ISM製造業景気指数、4日(水)に7月ISM非製造業景気指数が公表される。前回6月の結果はそれぞれ60.6、60.1となった。製造業は6月と比較して0.6ポイント下落した。内訳をみると仕入価格指数が過去最高の92.1を記録したほか、輸入指数も7.0ポイント伸びて61.0を記録するなど、商品価格の高騰と内需の改善が示唆された。片や、雇用指数は49.9と、昨年11月以来で初めて良化と悪化の境目である50を下回った。需要に見合うような労働力の確保ができていないほか、市場の賃金動向に起因する従業員の離職に関する報告が多数あったことが原因として指摘された。非製造業は過去最高を記録した前月から2.9ポイント悪化した。4か月連続で60以上の水準を維持した。各構成項目については製造業と類似した結果となっており、新規受注指数や受注残が依然強い結果となった。7月は各地でデルタ株の拡大が確認された。その中で経済活動制限はむしろ緩和方向への動きが強まっているものの、感染拡大の影響を受けやすい業種とそれ以外の業種における結果の差には留意したい。なお、ブルームバーグの予想では、7月の結果をそれぞれ60.8、60.5としている。その他、6日(金)に7月雇用統計の結果が公表される。
- 欧州では本日30日(金)にユーロ圏4～6月期GDP(速報)が発表される。1～3月期のGDP(季節調整値、以下同様)は前期比▲0.3%となった。10～12月期に続いて2期連続でのマイナスを記録した。前年比では▲1.3%となった。欧州では冬場にかけて変異株が流行し、各地で活動制限措置が敷かれており、これがマイナス成長の主な原因となった。しかし春先にかけては、域内でのワクチン接種の進展と活動制限措置の緩和によって、経済活動が正常化に近づいており、ECBの予想では22年1～3月期までにパンデミック前の水準に戻るとし、成長の見通しを引き上げている。引き続きデルタ株の感染拡大はダウンサイドリスクとなるが、現状では感染拡大によって景気回復が大幅に遅れることは見込まれていない。なお、ブルームバーグの事前予想では4～6月期の結果を前期比+1.5%と予想している。この他、本日30日(金)には7月ユーロ圏HICP(速報)、5日(木)には英国で金融政策会合が開催予定である。

|          | 本 邦                           | 海 外                                  |
|----------|-------------------------------|--------------------------------------|
| 7月30日(金) | ・6月失業率/有効求人倍率<br>・6月鉱工業生産(速報) | ・ユーロ圏4～6月期GDP(速報)<br>・ユーロ圏7月HICP(速報) |
| 8月2日(月)  | ・7月製造業PMI(確報)                 | ・米7月ISM製造業景気指数<br>・ユーロ圏7月製造業PMI(確報)  |
| 3日(火)    | —————                         | ・米6月製造業受注(確報)<br>・ユーロ圏6月PPI          |
| 4日(水)    | ・7月サービス業PMI(確報)               | ・米7月ISM非製造業景気指数                      |
| 5日(木)    | —————                         | ・米6月貿易収支<br>・英 金融政策会合                |
| 6日(金)    | ・6月景気動向指数(速報)                 | ・米7月雇用統計                             |

## 【当面の主要行事日程(2021年8月～)】

米ジャクソンホール経済シンポジウム(8月26～28日)  
 ECB政策理事会(9月9日、10月28日、12月16日)  
 日銀金融政策決定会合(9月21～22日、10月27～28日、12月16～17日)  
 FOMC(9月21～22日、11月2～3日、12月14～15日)

市場営業部・金融市場部  
 チーフマーケット・エコノミスト  
 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)  
[daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp](mailto:daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) [http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ\\_backnumber.html](http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html)

| 発行年月日      | 過去6か月のタイトル                                         |
|------------|----------------------------------------------------|
| 2021年7月29日 | FOMCを終えて～「著しい進展」が視野に～                              |
| 2021年7月28日 | 1人負けが鮮明となっている日本の経済・金融情勢                            |
| 2021年7月27日 | 「米国買い」をテーマとする金融市場の現状                               |
| 2021年7月26日 | ECB政策理事会を終えて～歴史的な修正～                               |
| 2021年7月21日 | 週末版                                                |
| 2021年7月20日 | 変化の兆候を感じる円相場～需給・物価要因に変調～                           |
| 2021年7月19日 | 気候変動オベを受けて～バランスに配慮した素案～                            |
| 2021年7月16日 | 週末版(「ドル安見通し」の内情を探る～「需給」でドル安の真実味～)                  |
| 2021年7月15日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年6月分)                        |
| 2021年7月14日 | 米インフレ率の騰勢とノイズ化するドットチャート                            |
| 2021年7月13日 | 気候変動対策に動き出したECB～戦略修正を受けて～                          |
| 2021年7月12日 | 猜疑心強まる民間部門～緊急事態宣言と貯蓄～                              |
| 2021年7月9日  | 週末版(ECB、18年ぶりの戦略修正の中身～ハト派修正であることは確か～)              |
| 2021年7月8日  | 米金利低下でも買われない円。理由はどこに                               |
| 2021年7月6日  | 想定される3つのシナリオ～BIS年次報告②～                             |
| 2021年7月5日  | Pandexitと格差拡大～BIS年次報告～                             |
| 2021年7月2日  | 週末版(2021年上半年の為替相場レビュー～下半期はワクチンから金融政策へ～)            |
| 2021年7月1日  | 世界の外貨準備動向～21年3月末時点～                                |
| 2021年6月28日 | 22年Q1に完全回復を見込むECB。「次の一手」は？                         |
| 2021年6月25日 | 週末版(ワクチン相場の意味期限とリスク～「ワクチン接種先進国のつまずき」に怯える局面～)       |
| 2021年6月23日 | やはり無理が出始めた北アイルランド国境管理                              |
| 2021年6月22日 | 遂に日銀も踏み出した中銀のグリーン化～その②～                            |
| 2021年6月21日 | 遂に日銀も踏み出した中銀のグリーン化～その①～                            |
| 2021年6月18日 | 週末版                                                |
| 2021年6月17日 | FOMCを終えて～前倒しで進む正常化シナリオ～                            |
| 2021年6月16日 | 新たな安全資産の誕生～ハミルトン・モーメントか否か～                         |
| 2021年6月15日 | イングランド行動制限延長も構図は変わらず                               |
|            | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年5月分)                        |
| 2021年6月14日 | ビットコイン法定通貨化に関する考察                                  |
| 2021年6月11日 | 週末版(ECB政策理事会を終えて～PEPPのその先を考える～)                    |
| 2021年6月9日  | ワクチン追い風に盛り返すドイツと党～最後の前哨戦～                          |
| 2021年6月8日  | 試され始めた「双循環」～元高容認に変調～                               |
| 2021年6月4日  | 週末版(米5月雇用統計を前に～どうあれドル/円相場の行く先は変わらず～)               |
| 2021年6月3日  | 「蚊帳の外」感の強まる円相場～細る取引高～                              |
| 2021年6月2日  | 着実に進むユーロ圏の日本化とユーロの堅調                               |
| 2021年6月1日  | 米インフレ基調の現状と正常化プロセスへの考察                             |
| 2021年5月28日 | 週末版(BOE早期利上げ観測の傍らで浮上する英国リスク～試されるワクチンの力～)           |
| 2021年5月26日 | 30年連続「世界最大の対外純資産国」の背後にドイツあり                        |
| 2021年5月25日 | 「量」を意に介さないユーロ相場騰勢                                  |
| 2021年5月24日 | 「コロナの終わり」で再認識する暗号資産の虚実                             |
| 2021年5月21日 | 週末版                                                |
| 2021年5月20日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年4月分)                        |
|            | FOMC議事要旨～テーバリングが必要なのは財政政策？～                        |
| 2021年5月19日 | ECBのテーバリングはあるのか？                                   |
| 2021年5月18日 | 鮮明になる円に対する低い関心                                     |
| 2021年5月17日 | 円相場の基礎的需給環境～Q1を終えて～                                |
| 2021年5月14日 | 週末版                                                |
| 2021年5月13日 | インフレ懸念で米金融政策は動きそうか？                                |
| 2021年5月12日 | 運動が戻り始めた米株価と米消費者心理                                 |
| 2021年5月11日 | スコットランド独立を巡るQ&A～現状と展望～                             |
| 2021年5月10日 | 最近の為替市場に見る「正常化の胎動」                                 |
| 2021年5月7日  | 週末版(FRBの対話を阻害してしまうイエレン長官の存在～避けたい「院政」状態～)           |
| 2021年5月6日  | 明暗が鮮明になった「米国 vs. ユーロ圏 & 日本」                        |
| 2021年4月30日 | 週末版                                                |
| 2021年4月27日 | 「成長痛」に直面しそうな新興国はどこにあるか？                            |
| 2021年4月26日 | 年後半に警戒したい金融市場の「成長痛」                                |
| 2021年4月23日 | 週末版(ECB政策理事会を終えて～6月、テーバリングと曲解されるリスクを警戒～)           |
| 2021年4月21日 | ユーロ圏銀行貸出態度調査～与信環境の厳しさは継続～                          |
| 2021年4月20日 | 調整色が強まってもワクチン相場の核心は変わらず                            |
| 2021年4月19日 | 為替政策報告の読みから～イエレン長官の思惑は～                            |
| 2021年4月16日 | 週末版(長きにわたる正常化プロセスの始まりか～まずはパウエルショックの回避が至上命題～)       |
| 2021年4月15日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年3月分)                        |
| 2021年4月14日 | 多様化が進む世界の外貨準備～ドル離れが顕著に～                            |
| 2021年4月13日 | ユーロ相場の展望～盤石の需給が支えに～                                |
| 2021年4月12日 | 近年の「年間値幅」をこなしたドル/円相場の今後                            |
| 2021年4月9日  | 週末版(GFSRも懸念する世界経済の「成長痛」～中長期的に拡がる「金利の無い世界」のフロンティア～) |
| 2021年4月7日  | IMF世界経済見通しに示す新興国の憂鬱                                |
| 2021年4月6日  | 暗雲垂れ込めるアフターメルケルのドイツ政治                              |
| 2021年4月5日  | 米3月雇用統計の読み方～長期失業者割合は上昇～                            |
| 2021年4月2日  | 週末版(欧州で台頭するワクチン・ナショナリズム～EU 離脱を象徴するワクチン戦争～)         |
| 2021年4月1日  | ラガルドECB総裁、「挑発」の真意はどこに？                             |
| 2021年3月29日 | リスクシナリオの点検～上下のリスクを検討する～                            |
| 2021年3月26日 | 週末版(現状を理解するための3つのテーマ「金利」・「コロナ抑制状況」・「原油」～「需給」は小休止～) |
| 2021年3月25日 | ドイツ州議会選挙に見る「移民から環境へ」のシフト                           |
| 2021年3月22日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年2月分)                        |
| 2021年3月19日 | 週末版(「実質金利ゼロ」が次の節目？～ハイライトは4～6月期か？～)                 |
| 2021年3月18日 | FOMCレビュー～現状維持に見る強気の足音～                             |
| 2021年3月16日 | FOMCレビュー～ドットチャート&議長会見～                             |
| 2021年3月15日 | 期待の米国、不安の日本～コロナ対応の明暗～                              |
| 2021年3月12日 | 週末版(ECB政策理事会を終えて～significantly higher paceの解釈～)    |
| 2021年3月11日 | ECB政策理事会レビュー～PEPPの加速を示唆へ～                          |
| 2021年3月9日  | 年初来の為替市場から見える「今年のテーマ」                              |
| 2021年3月8日  | 好調な米2月雇用統計にも見逃せない危うさ                               |
| 2021年3月5日  | 週末版                                                |
| 2021年3月4日  | 英ポンド急騰の背景～経済対策、ワクチン、成長率～                           |
| 2021年3月3日  | 米金利に連れたユーロ圏金利～ECBは容認できず～                           |
| 2021年3月2日  | 「鏡に映った自分」に惑うFRB～前提が変わった2か月間～                       |
| 2021年2月26日 | 週末版(米10年金利の1.60%台到達を受けて～パウエルショック～)                 |
| 2021年2月25日 | マネーサプライを見てインフレ語れず～パウエル公聴会～                         |